

令和3年経済センサス-活動調査 製造業に関する結果概要 ～従業員4人以上の事業所～

令和3年6月1日現在で実施した、「令和3年経済センサス-活動調査」の製造業に関する調査結果が公表されましたので、網走市の概要を紹介いたします。

なお、本結果概要は、製造業について「工業統計調査」と時系列比較を行うため、経済センサス-活動調査の調査結果のうち、従業員数4人以上の製造事業所について集計したものです。

1 概況

- (1) 事業所数は49事業所で、前年と比べて2事業所の増加(+4.3%)となりました。
- (2) 従業員数は1,555人で、前年と比べて23人の増加(+1.5%)となりました。
- (3) 製造品出荷額等は517億7,956万円で、前年と比べて45億9,696万円の増加(+9.7%)となり、令和元年から2年連続の増加となりました。
- (4) 付加価値額は123億2,982万円で、前年と比べて11億582万円の増加(+9.9%)となり、平成30年から3年連続の増加となりました。

表1 主要項目の推移

年次	事業所数		従業員数		製造品出荷額等		付加価値額	
		前年比	(人)	前年比	(万円)	前年比	(万円)	前年比
平成28年	57	△1.7%	1,552	△1.8%	5,181,720	△2.0%	1,142,692	△7.2%
29年	52	△8.8%	1,522	△1.9%	5,277,012	1.8%	847,725	△25.8%
30年	48	△7.7%	1,594	4.7%	4,373,085	△17.1%	1,040,608	22.8%
令和元年	47	△2.1%	1,532	△3.9%	4,718,260	7.9%	1,122,400	7.9%
2年	49	4.3%	1,555	1.5%	5,177,956	9.7%	1,232,982	9.9%

※「令和2年」の数値は、経済センサス-活動調査の結果です（以下同じ）。

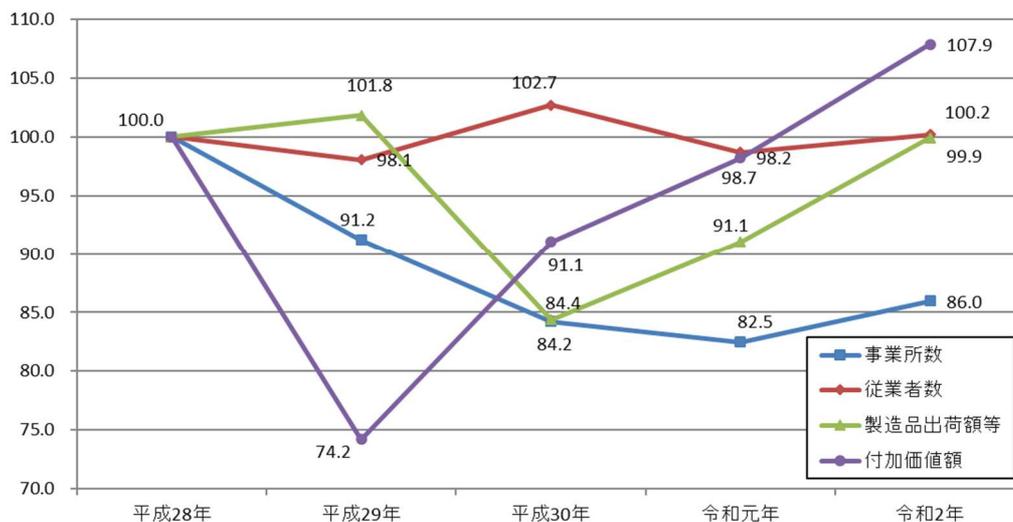


図1 主要項目指数の推移 (平成28年=100)

2 事業所数 49 事業所 ～ 2 事業所の増加 ～

事業所数は、49 事業所で、前年と比べて2 事業所の増加（+4.3%）となりました（表 2）

産業別にみると、前年と比べて増加したのは、食料品製造業、金属製品製造業（それぞれ+2 事業所）輸送用機械器具製造業（+1 事業所）の3 産業となりました。

一方、前年と比べて減少したのは、飲料・たばこ・飼料製造業、木材・木製品製造業、家具・装飾品製造業（それぞれ△1 事業所）となりました。

また、事業所数が最も多い産業は、食料品製造業（31 事業所、構成比 63.3%）となり、次いで金属製品製造業（5 事業所、同 10.2%）などとなりました（図 2）。

表 2 事業所数の推移

年次	実数 (事業所)	前年差 (事業所)	前年比
平成28年	57	△ 1	△1.8%
29年	52	△ 5	△8.8%
30年	48	△ 4	△7.7%
令和元年	47	△ 1	△2.1%
2年	49	2	4.3%

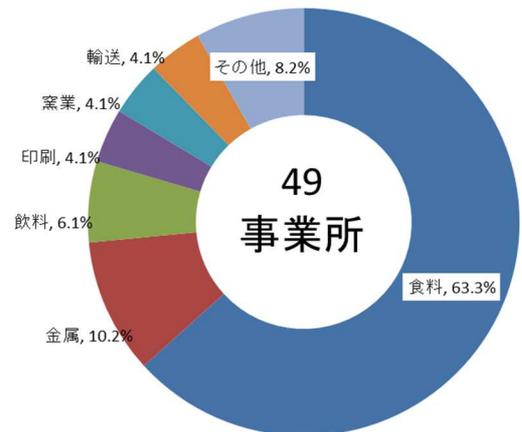


図 2 産業別事業所構成比

3 従業者数 1,555 人 ～ 令和元年の減少から転じて増加 ～

従業者数は 1,555 人で、前年と比べて 23 人の増加（+1.5%）となり、令和元年の減少から転じて増加となりました（表 3）。

産業別にみると、前年に比べて増加したのは、食料品製造業（+39 人）、電子部品・デバイス製造業（+12 人）、金属製品製造業（+10 人）などの4 産業となりました。

一方、前年と比べて減少したのは、飲料・たばこ・飼料製造業（△21 人）、木材・木製品製造業（△17 人）などの3 産業となりました。

また、従業者数が最も多い産業は、食料品製造業（1,272 人、構成比 81.8%）となり、次いで電子部品・デバイス製造業（118 人、同 7.6%）などとなりました（図 3）。

表 3 従業者数の推移

年次	従業者数 (人)	前年差 (人)	前年比	1事業所 当たり 従業者数 (人)
平成28年	1,552	△ 28	△10.2%	27.2
29年	1,522	△ 30	△1.9%	29.3
30年	1,594	72	4.7%	33.2
令和元年	1,532	△ 62	△3.9%	32.6
2年	1,555	23	1.5%	31.7

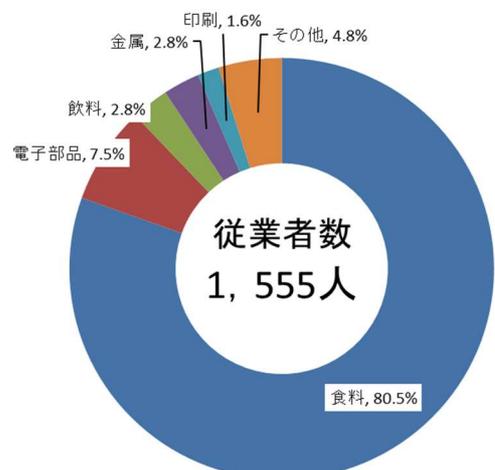


図 3 産業別従業者数構成比

4 製造品出荷額等 517 億 7,956 万円 ～ 2 年連続の増加 ～

製造品出荷額等は 517 億 7,956 万円で、前年と比べて 45 億 9,696 万円の増加（+9.7%）となり、令和元年から 2 年連続の増加となりました（表 4）。

1 事業所当たりの出荷額等についても、前年と比べ 5,284.1 万円の増加（+5.3%）となり、従業者 1 人当たりの出荷額等についても、250.1 万円の増加（+8.1%）となりました。

また、製造品出荷額等が最も多い産業は、食料品製造業（451 億 5,818 万円、構成比 87.2%）となり、次いで飲料・たばこ・飼料製造業（19 億 1,562 万円、同 3.7%）などとなりました。

表 4 製造品出荷額等の推移

年次	製造品出荷額等 (万円)	前年差 (万円)	前年比	1事業所当たり 出荷額等(万円)		従業者1人当たり 出荷額等(万円)	
					前年比		前年比
平成28年	5,181,720	△ 108,327	△2.0%	90,907.4	△0.3%	3,338.7	△0.3%
29年	5,277,012	95,292	1.8%	101,481.0	11.6%	3,467.2	3.8%
30年	4,373,085	△ 903,927	△17.1%	91,105.9	△10.2%	2,743.5	△20.9%
令和元年	4,718,260	345,175	7.9%	100,388.5	10.2%	3,079.8	12.3%
2年	5,177,956	459,696	9.7%	105,672.6	5.3%	3,329.9	8.1%

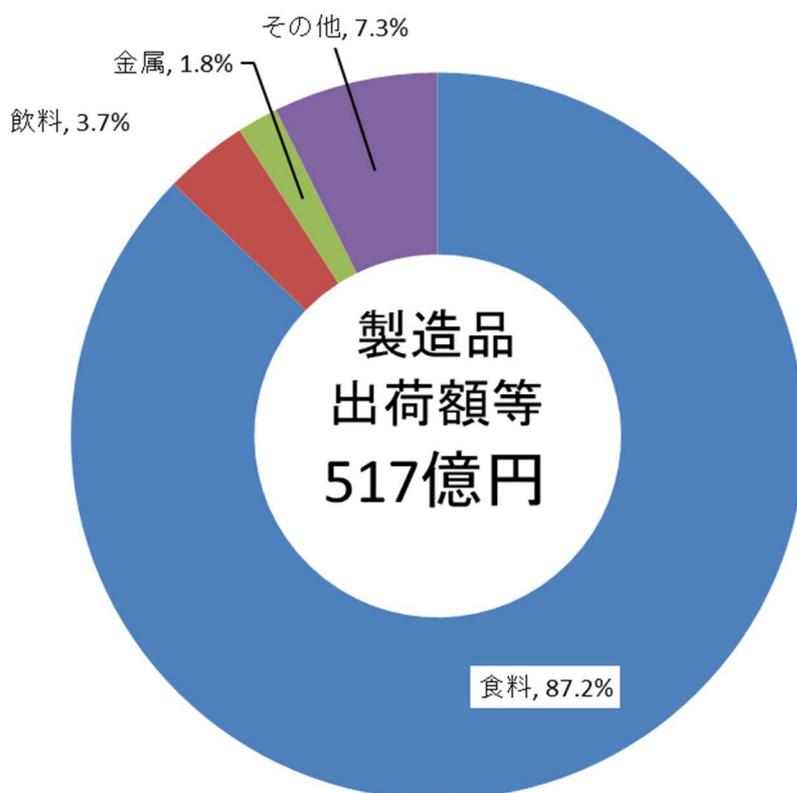


図 4 産業別製造品出荷額等構成比

5 付加価値額 123 億 2,982 万円 ～ 3 年連続の増加 ～

付加価値額は 123 億 2,982 万円で、前年と比べて 11 億 582 万円の増加（+9.9%）となり、平成 30 年から 3 年連続の増加となりました（表 5）。

1 事業所当たりの付加価値額は、前年と比べ 1282 万円の増加（+5.4%）となり、従業員 1 人当たりの付加価値額は、60.3 万円の増加（+8.2%）となりました。

また、付加価値額が最も多い産業は、食料品製造業（90 億 8,552 万円、構成比 73.7%）となり、次いで飲料・たばこ・飼料製造業（8 億 2,666 万円、同 6.7%）などとなりました。

表 5 付加価値額の推移

年次	付加価値額 (万円)	前年差 (万円)	前年比	1事業所当たり 付加価値額(万円)		従業員1人当たり 付加価値額(万円)	
					前年比		前年比
平成28年	1,142,692	△ 88,230	△7.2%	20,047.2	△5.5%	736.3	△5.5%
29年	847,725	△ 294,967	△25.8%	16,302.4	△18.7%	557.0	△24.4%
30年	1,040,608	192,883	22.8%	21,679.3	33.0%	652.8	17.2%
令和元年	1,122,400	81,792	7.9%	23,880.9	10.2%	732.6	12.2%
2年	1,232,982	110,582	9.9%	25,162.9	5.4%	792.9	8.2%

6 産業類型別事業所数 ～ 生活関連型が 75.5% ～

産業類型別の事業所数を構成比で見ると、食料品や飲料などの生活関連型（構成比 75.5%）の割合が圧倒的に高く、金属製品などの基礎素材型（同 16.3%）及び輸送用機械器具などの加工組立型（同 8.2%）の割合が低くなりました。（表 6）

表 6 産業類型別事業所数の推移

年次	基礎素材型	加工組立型	生活関連型
平成28年	14.0%	5.3%	80.7%
29年	15.4%	5.8%	78.8%
30年	16.7%	6.3%	77.1%
令和元年	14.9%	6.4%	78.7%
2年	16.3%	8.2%	75.5%

注：産業類型

- ・基礎素材型 … 木材・木製品（家具を除く）、パルプ・紙・紙加工品、化学工業、石油製品・石炭製品、プラスチック製品、ゴム製品、窯業・土石製品、鉄鋼業、非鉄金属、金属製品
- ・加工組立型 … はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具、輸送用機械器具、その他の製品
- ・生活関連型 … 食料品、飲料・たばこ・飼料、繊維工業、家具・装飾品、印刷・同関連業、なめし革・同製品・毛皮